



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社トランスジェニック
コード番号 2342 URL <https://www.transgenic.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福永 健司
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理財務部長 (氏名) 渡部 一夫
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 092-288-8470

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,280	32.8	106		128		78	
2023年3月期第1四半期	2,470	25.4	16		15		25	

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 69百万円 (%) 2023年3月期第1四半期 1百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	4.64	
2023年3月期第1四半期	1.53	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	10,375	6,107	57.9	356.44
2023年3月期	10,672	6,122	56.4	356.98

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 6,008百万円 2023年3月期 6,017百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		5.00	5.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		0.00		3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	9.4	300		250	25.5	150		8.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	16,999,141 株	2023年3月期	16,999,141 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	141,422 株	2023年3月期	141,422 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	16,857,719 株	2023年3月期1Q	16,817,719 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績見通しのご利用に当たっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動規制の緩和により、個人消費の緩やかな回復基調が見られましたが、円安の進行や物価の上昇が継続しており、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような中、創薬支援事業は、株式会社新薬リサーチセンター（以下、「新薬リサーチセンター」といいます。）の中央研究所（北海道恵庭市）の非臨床試験受託事業について、株式会社安評センター（以下、「安評センター」といいます。）へ人員を再配置し、集約を行うことを2023年4月に決定しましたが、当該事業はその集約過程にあることから、新薬リサーチセンターの売上高は前年同期比で減少いたしました。一方、安評センターは、その集約過程において、新薬リサーチセンターとの顧客網の共有化や一体的な営業により、受託試験の案件数は増えましたが、まだ仕掛中の試験が多いことから当第1四半期連結累計期間の売上高に対する効果は限定的となりました。また、受託試験数の増加に伴い海外案件比率が増加し、受託試験の規模及び実施期間につきましても、より大型化・長期化いたしました。その結果、当下半期以降完了予定の試験が多くなり、売上高は前年同期比で小幅の増加に留まりました。

投資・コンサルティング事業は、大型受注案件の完了により株式会社TGMの売上高が伸長したほか、その他の子会社においては価格転嫁を進めたことで利益率が改善し、前年同期比で増収・増益となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、主として投資・コンサルティング事業の増収により3,280,528千円（前年同期比32.8%増）となり、営業利益につきましても106,954千円（前年同期は16,906千円の営業損失）となりました。経常利益につきましても、為替差益等の営業外収益35,666千円及び支払利息等の営業外費用13,640千円を計上した結果、128,980千円（前年同期は15,023千円の経常損失）となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、「法人税、住民税及び事業税」20,641千円、法人税等調整額34,945千円及び非支配株主に帰属する四半期純損失5,505千円を計上した結果、78,201千円（前年同期は25,757千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

① 創薬支援事業

当事業は、創薬の初期段階である探索基礎研究・創薬研究から、非臨床試験、臨床試験まで、創薬のあらゆるステージに対応できるシームレスなサービスをグループで展開しております。

当第1四半期連結累計期間は、上記のとおり、新薬リサーチセンターの中央研究所の非臨床試験受託事業を安評センターへ集約する過程において、新薬リサーチセンターの売上高が前年同期比で減少いたしました。また、安評センターは、その集約過程における効果が限定的となり、当下半期以降完了予定の試験が多く、売上高は前年同期比で小幅の増加に留まりました。さらに、2023年3月に連結子会社化した株式会社MA S Cの売上高が貢献したものの、新薬リサーチセンターの売上高減少を補うまでには至りませんでした。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は487,066千円（前年同期比3.5%減）、営業損益につきましても8,264千円の損失（前年同期は31,749千円の利益）となりました。

② 投資・コンサルティング事業

当事業は、M&Aによる新規事業の推進や事業承継等に係る助言・支援サービスを行っております。

当第1四半期連結累計期間は、大型受注案件の完了により株式会社TGMの売上高が伸長したほか、その他の子会社においては価格転嫁を進めたことで増収となり、利益率も改善いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は2,795,080千円（前年同期比42.1%増）となり、営業損益につきましても167,068千円の利益（前年同期比3,505.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は7,272,247千円となり、前連結会計年度末に比べ290,124千円減少いたしました。これは主に、商品及び製品が89,148千円、受取手形、売掛金及び契約資産が81,419千円、仕掛品が51,633千円それぞれ増加した一方、現金及び預金が330,833千円、その他流動資産が176,597千円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は3,103,600千円となり、前連結会計年度末に比べ6,958千円減少いたしました。これは主に、試験設備の改修等により有形固定資産が31,824千円増加した一方、投資その他の資産が28,330千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,612,359千円となり、前連結会計年度末に比べ131,633千円減少いたしました。これは主に、短期借入金が200,000千円、買掛金が53,419千円それぞれ増加した一方、前受金が268,840千円、その他流動負債が65,027千円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は1,655,611千円となり前連結会計年度末に比べ150,807千円減少いたしました。これは主に、長期借入金138,868千円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は6,107,877千円となり、前連結会計年度末に比べ14,642千円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を78,201千円計上し、84,288千円の剰余金の配当を行ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予測につきましては、2023年5月12日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,459,447	3,128,613
受取手形、売掛金及び契約資産	1,083,456	1,164,876
商品及び製品	1,353,059	1,442,207
仕掛品	745,490	797,123
原材料及び貯蔵品	139,723	135,118
その他	788,761	612,164
貸倒引当金	△7,566	△7,855
流動資産合計	7,562,372	7,272,247
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	980,931	986,294
土地	905,846	905,846
その他(純額)	104,883	131,346
有形固定資産合計	1,991,661	2,023,486
無形固定資産		
のれん	557,250	546,010
その他	10,422	11,210
無形固定資産合計	567,673	557,220
投資その他の資産		
投資有価証券	105,502	97,444
その他	469,281	449,009
貸倒引当金	△23,559	△23,559
投資その他の資産合計	551,223	522,893
固定資産合計	3,110,559	3,103,600
資産合計	10,672,931	10,375,848

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	408,742	462,162
未払金	284,024	248,135
短期借入金	170,000	370,000
1年内償還予定の社債	14,000	14,000
1年内返済予定の長期借入金	478,032	466,469
未払法人税等	57,378	23,336
前受金	969,958	701,118
賞与引当金	23,388	53,698
受注損失引当金	63	63
その他	338,403	273,375
流動負債合計	2,743,992	2,612,359
固定負債		
社債	137,000	137,000
長期借入金	1,569,482	1,430,614
長期末払金	27,562	23,528
退職給付に係る負債	40,892	36,754
その他	31,482	27,714
固定負債合計	1,806,419	1,655,611
負債合計	4,550,412	4,267,970
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	3,869,990	3,869,990
利益剰余金	2,147,300	2,141,213
自己株式	△76,915	△76,915
株主資本合計	5,990,375	5,984,288
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,064	3,711
為替換算調整勘定	18,401	20,704
その他の包括利益累計額合計	27,465	24,416
新株予約権	200	200
非支配株主持分	104,478	98,972
純資産合計	6,122,519	6,107,877
負債純資産合計	10,672,931	10,375,848

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,470,613	3,280,528
売上原価	2,016,487	2,641,165
売上総利益	454,125	639,362
販売費及び一般管理費	471,032	532,407
営業利益又は営業損失(△)	△16,906	106,954
営業外収益		
受取利息	187	2
為替差益	6,958	32,714
受取保険金	787	866
その他	3,704	2,083
営業外収益合計	11,638	35,666
営業外費用		
支払利息	6,728	10,831
その他	3,026	2,809
営業外費用合計	9,755	13,640
経常利益又は経常損失(△)	△15,023	128,980
特別損失		
固定資産除却損	—	697
特別損失合計	—	697
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△15,023	128,282
法人税、住民税及び事業税	9,463	20,641
法人税等調整額	2,835	34,945
法人税等合計	12,299	55,586
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△27,322	72,696
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,565	△5,505
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△25,757	78,201

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△27,322	72,696
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,156	△5,352
為替換算調整勘定	6,401	2,303
その他の包括利益合計	25,557	△3,049
四半期包括利益	△1,764	69,646
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△199	75,151
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,564	△5,505

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	創薬支援事業	投資・コンサル ティング事業			
売上高					
外部顧客への売上高	503,079	1,966,933	2,470,013	600	2,470,613
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,500	32	1,532	△1,532	—
計	504,579	1,966,966	2,471,546	△932	2,470,613
セグメント利益	31,749	4,633	36,383	△53,289	△16,906

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△53,889千円、各報告セグメントに含まれない収入600千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	創薬支援事業	投資・コンサル ティング事業			
売上高					
外部顧客への売上高	485,566	2,794,511	3,280,078	450	3,280,528
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,500	568	2,068	△2,068	—
計	487,066	2,795,080	3,282,146	△1,618	3,280,528
セグメント利益又は損失(△)	△8,264	167,068	158,803	△51,849	106,954

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△52,299千円、各報告セグメントに含まれない収入450千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。